

三和実業の脱炭素取り組み



三和実業はコイルセンターとしてのカーボンニュートラルへの取り組みの一つとして、日本製鉄のNSカーボレックスニュートラルを使用したベーリングフープの製造販売を4月から開始する。自社使用分についても、4月から順次、切り替えていく。

同社では、コイルセンターとして行えるカーボンニュートラルへの取り組みは限られているが、取引先各社にこの取り組みに賛同してもらえよう説明し、流通全体でカーボンニュートラルへの取り組みを広げていきたいと考えており、既に数社から申し込みを受けている。

なお、名称については同社が名古屋を拠点としていることから『DRAGOREX（ドラゴレックス）龍王』とした「上記ロゴ」。

（日刊産業新聞 2025年4月4日掲載）

日本製鉄グリーン鋼材使用

梱包用帯鉄の販売開始

ベーリングフープで新ブランド

DRAGOREX(ドラゴレックス/龍王)

三和実業は、コイルセンターとしてカーボンニュートラル(CN)への取り組みにも注力している。その一環で、日本製鉄のグリーンスチールNSカーボレックスニュートラル(NSCarbolex Neutral)を使用したベーリングフープ(梱包用バンド)の新ブランド「DRAGOREX(ドラゴレックス/龍王)」を立ち上げ、製造販売を開始する。

ベーリングフープは鋼材や非鉄製品など幅広く梱包用として使用されている結束バンド。三和実業では東海第2工場で製造・強度試験を行っている。母材にNSカーボレックスニュートラルを使用することで、ユーザーのCNへの取り組みに貢献する。ブランド名は、名古屋地区界隈を拠点としていることから、地元プロ野球チーム因



DRAGOREX
のロゴと製品

んだネーミングとした。

自社使用分のベーリングフープについては、今月から順次DRAGOREXに切り替える予定。取引先には個別に今回の取り組みについて説明・提案を行っており、すでに数社から賛同・申し込みが入ってきている。今後、DRAGOREXの拡販、普及活動によって、流通全体でCNへの取り組みを広げていく方針だ。

（日刊鉄鋼新聞 2025年4月4日掲載）

日本製鉄のグリーンスチール採用